

Trader's Databank

砂田伊知郎 sunada@bug.co.jp

山一証券、山一情報システム、NY駐在を経て、現在㈱ビー・ユー・ジー/プロジェクト推進本部で国際業務・新規事業企画を担当。

NOTE : 10月にオンライントレードが本格稼動して1か月あまりが経過しました。オンライン取引という新しい販売チャネルの登場をきっかけに、証券取引を始めようとする個人投資家を取り込むことができ、まずは目標達成というところでしょうか。「オンライントレードに顧客を奪われるのでは?」という当初の予想に反して、窓口での取引も増えているそうです。やはり「専門家の意見を聞いて取引を始めよう」という株式投資ビギナーも多かったものと思われます。

オンライントレードに関するトピックスとしては、11月5日、電子証券取引市場「ナズダック・ヨーロッパ」設立が発表になりました。これは米国NASDAQ(全米証券業協会)とソフトバンク社、epartners社とViventures Capital社(前者は豪News Corporation社の、後者は仏Vivendi社のベンチャーキャピタルファンド)のジョイントベンチャーで、2000年第4四半期からの稼動が計画されています。6月に発表された「ナズダック・ジャパン」も同時期に始動予定ですので、「ナズダック・ヨーロッパ」登場によりアジア、米国、ヨーロッパと主要3極を結ぶ世界初のグローバル電子証券取引市場が登場することとなります。

一方、米国のオンライントレード状況ですが、11月、12月とフルブローカーと呼ばれる証券会社が、続々とオンラインに本格参入します。11月にはモルガン・スタンレー・ディーン・ウィッター社が、その後、メリルリンチ社、ソロモン・スミス・バーニー社が参入の予定です。これら証券会社は、高品質な投資アドバイスと資産管理を売り物に、手数料を割り引かないビジネスを行ってきたので、オンライントレードでどのような特色あるサービスを提供するのが注目が集まっています。

(1999年11月18日)

取扱商品													リアルタイム株価	チャート	取引 可否
日本株	店頭株	ミニ株	外国株	信用取引	オプション	転換社債	中国ファンド	公社債投信	MRF	円MMF	US・MMF	投信扱本数			
○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	0	-	○	○
○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	0	○	○	○
○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	0	-	○	○
○	○	○	(米国株)	-	-	○	○	-	-	○	-	4本以上	○	○	○
○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	11月中 発予定	11月中 発予定	○
○	○	-	-	-	11/304/9/11 E (MRF)	-	○	-	-	○	-	0	○	○	○
○	○	-	-	-	-	-	○	-	年内別 発予定	○	-	5	○	○	○
○	○	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	0	○	○	○

ABOUT INVESTMENT TRUST -- 投資信託とは

今回は投資信託を取り上げます。投資信託とは、多くの投資家から集めたまとまった資金を、資産運用の専門家(ファンドマネージャー)が運用して、運用利益を投資家に分配する金融商品です。

一般的に投資に際しては、価格の急変動に対する危険を減少させるため、株式や債券などの有価証券を組み合わせた「分散投資」が有効だと言われています。しかし個人投資家レベルでは、「少ない資金」「投資への知識や経験不足」「投資先を探し出す時間的余裕のなさ」により、なかなか分散投資を行うことは難しいものです。その点、投資信託は、多くの投資家から集めた資金を投資のプロが運用してくれるので、投資家からすれば、お金さえ入れてしまえば日々の株値動きのチェックや株式注文などを気にせず済むので非常に手軽な投資商品と言えます。

ただし、投資信託は値動きのある有価証券に投資しますので、元本が保証されるものではありません。運用利回りが年間10%とか20%という商品がある反面、元本割れを起こす商品もあるので。モーニングスター [\(Jump01\)](#) やS & Pアイフィス [\(Jump02\)](#) などの投資信託評価機関から、投資信託の格付け情報が発表されてい

ます。投資信託を購入する際には、これら評価機関の情報を見くらべ、必要とあれば専門家のアドバイスを受けるといいでしょう。

また、流動性の高い投資信託には、株式購入前の「預かり金」運用という役割もあります。そのため、多くのオンライントレードでも、MMFやMRFといった比較的风险が低い投資信託を取扱っています。たとえば、MRFに一旦資金を入金し、株式購入時にはMRFを解約して代金に当てる。そして、株式売却後、しばらく次の購入予定がない場合は資金をMRFで運用する、という具合に利用する訳です。ネット上で扱われている投資信託の中から、リスクの低い代表的な商品をいくつか紹介します。各証券会社で扱う投資信託については298ページの一覧表で確認してください。

MRF(マネー・リザーブ・ファンド)

国や地方公共団体、一般事業会社の発行する債券(公社債)とコマーシャルペーパー(企業、金融機関が運転資金調達目的で振り出す短期の約束手形)を中心に運用される投資信託です。証券総合口座に付加されて、預かり金の運用に使われるケースもあります。

公社債投信・中期国債ファンド・MMF

公社債投信は、元本が比較的安確な公社債を中心に運用する投資信託です。「中期国債ファンド」(中国ファンド)は、中期利付国債に重点投資をする投資信託です。「MMF」は、短期国債などの短期公社債を主要投資先とする投資信託です。3つの商品ともリスクが低く比較的回利も高い投資信託ですから、投資信託ピギナーの入門用には最適の商品です。

Jump01 www.morningstar.co.jp

Jump02 www.ifisinc.com

日計り面 (*1)	投資相談 頭で相談	最寄りの店 手数料	売買手数料: 成り行き (円)				売買手数料: 指値 (円)				一口注文 の適用 (*3)	手数料引き の適用	手数料引き の有無	利用料 (円/月)	口座開設料 (円/月)	残高 (円/月)	情報サービス料 (円/年)
			最低 50万円	約 100万円	約 300万円	約 500万円	最低 50万円	約 100万円	約 300万円	約 500万円							
○	—	—	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	—	—	—	無料	無料	無料	無料	無料
○	○	○	2,500	2,500	3,450	8,850	2,500	2,500	3,450	8,850	—	—	無料	無料	無料	無料	無料
—	○	○	2,000	4,250	8,250	21,250	2,000	4,250	8,250	21,250	○	—	無料	無料	無料	無料	無料
○	—	○	2,000	2,000	3,000	9,000	2,000	2,000	3,000	9,000	—	—	無料	無料	1,854 (通年)	6,000 (3か月)	1,854 (通年)
○	○	○	2,500	5,750	11,500	27,850	2,500	5,750	11,500	27,850	○	相談により最大5%割引	無料	2000	無料	2000	6,000 (3か月)
○	○	○	1,500	1,500	1,500	3,000	2,000	2,000	2,000	3,600	○	—	無料	無料	無料	17	17
○	—	—	1,500	1,500	1,500	3,000	2,000	2,000	2,000	3,000	—	—	無料	無料	18	18	18
○	—	—	800	800	800	800	1,000	1,000	1,000	900	—	—	無料	無料	未定	未定	未定
—	○	○	1,800	4,525	9,050	22,550	1,800	4,525	9,050	22,550	—	—	無料	19	19	19	サービス料

HOW TO ORDER—注文方法

ここでは、手数料とも大いに関係のある「注文方法」について解説します。株式の発注方法には「指値」(LIMIT ORDER)と「成り行き」(MARKET ORDER)があり、注文方法によって手数料が異なることも多いのです。

まず、注文について3つの原則(ルール)を覚えておいてください。指値注文の場合、「買い」の時は高い価格、「売り」の時は安い価格での注文が優先される「価格優先の原則」というものがあります。さらに、同一条件の注文の場合、注文時間の早いものが優先される「時間優先の原則」。そして指値注文よりも成り行き注文が優先される「成り行き注文優先の原則」です。

「成り行き注文」は文字どおり「成り行きに任せ注文」で、売買したい銘柄と株数だけを決め、値段は指定せずに発注を行うものです。「成り行き注文優先の原則」により「指値注文」(後述)より先に取引が執行されますので、約定されやすい注文方法だと言えます。とにかく希望する株を売買したい場合に有効な注文方法です。しかし、値動きの激しい銘柄を取引する際は、思わぬ価格で注文執行されてしまうこともありますので注意が必要です。

一方「指値注文」は、あらかじめ約定希望価格を決めて注文発注する方法です。指値で指定した値段、もしくはそれよりも有利な値段で注文執行されます。たとえば、現在市場で1,000円の値が付いている株式を買いたいとき、指値注文で950円と発注すると、950円かそれ

以下(安く買えるのは問題がないからです)の値段で約定されます。同様に、売却時は、指定した金額と同額が高い金額になった場合に(同様に、高く売れるのも問題がないからです)注文が執行されます。

「指値注文」の場合は、必ず希望価格がそれより有利な価格で注文執行されますので、予期せぬ損失を回避することができます。たとえば店頭株で取引量が少ない場合などは株価が大きく変動することがあるため、「指値注文」し

か受け付けない証券会社もあります。

日米国ではより多様な取引方法が利用されています。たとえば、ある金額まで株価が下がったら(上がったなら)注文を執行するという「STOP ORDER」、ある金額まで値段が下がったら指値注文を行う「STOP LIMIT ORDER」などです。

今後、日本でもバラエティに富んだ発注方法が提供されることで、オンライントレードの魅力もさらに増すのではないのでしょうか。

各注文方法の特徴

	注文方法	メリット	デメリット
日本・米国	成り行き注文 (MarketOrder)	<ul style="list-style-type: none"> その時に市場で一番良い値段で売買が行われる。 指値注文よりも優先的に注文執行される。 価格を指定しないので、売買成立がされやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 市場の値動きが激しいときは、予期せぬ高い(安い)値段で売買成立する可能性がある。
	指値注文 (LimitOrder)	<ul style="list-style-type: none"> 指値価格よりも必ず良い値段で売買が行われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指値価格に達しない場合は注文が執行されない。 指値価格に達しても他に成り行き注文がある場合、指値の注文執行が後回しになる。
米国	Stop Order (指定価格に達すると成り行き注文を執行する)	<ul style="list-style-type: none"> 指定した価格に近い値段で売買が成立しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 市場の値動きが激しいときは、指定価格とかなり離れた値段で売買成立する可能性がある。
	StopLimitOrder (指定価格に達すると指値注文を執行する)	<ul style="list-style-type: none"> 指定価格よりも必ず良い値段で売買が成立する。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定価格に達して指値注文が執行された後、指定価格よりも有利な価格に株価が戻らないと売買が成立しない。

米国では、上記注文方法に追加指定として「注文の有効期限」を設定できる。発注日のみ注文が有効な「DayOrder」(Good for Day Order)と、売買成立する取消の行われな限り注文が有効な「GTC」(Good Till Canceled Order)がある。

オンライントレード取扱商品 & サービス一覧表

証券会社	Jump	取扱商品											情報提供						
		日本株	店頭株	ミニ株	外国株	信用取引	オプション	転換社債	中国ファンド	公社債投信	MRF	円MMF	USMMF	投資元本(数本)	リアルタイム株価	チャート	取引履歴の照会 可否	期間(月)	投資シミュレーションゲーム
藍沢証券	www.aizawa.co.jp												0				3		GCオプティキャスト
アーク証券	www.ark-sec.co.jp												0				6		Quick-IS Web
安藤証券	www.ando-sec.co.jp												0			(*22)			GCオプティキャスト
イー・トレード証券	www.etrade.ne.jp												200以上				24	予定あり	(*7)
今川三澤屋証券	imagawa.webbroker.ne.jp				(米国株)								4以上				12		大和総研
今村証券	www.imamura.co.jp												0	11月中旬予定	11月中旬予定		制限なし		Quick-IS Web
岩井証券	www.iwaisec.co.jp												0				13		Quick-IS Web
ウツミ屋証券	www.utsumiya.co.jp										年内対応予定		5				13		大和総研、Quick-IS Web
エイチ・アイ・エス協立証券	www.his-kyoritsu.co.jp												20				12		Quick社
岡三証券	www.okasan.co.jp										解約のみ		18				2		東証、東洋経済新報社
オリックス証券	www.orix-sec.co.jp										年内開始予定		0				12		東京証券取引所
勸角証券	www.kankaku.co.jp												0						日本証券業協会、Yahoo!モニングスター
国際証券	www.kokusai.co.jp												0						時事通信社
コスモ証券	www.cosmo-sec.co.jp										解約のみ		11		年内対応予定		6		
シュワブ東京海上証券	www.schwabtokiomarine.co.jp	(*5)		未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	3-4				(*22)	検討中	Quote.com、ロイター社
新日本証券	www.shinnihon.co.jp										解約のみ		5				2		各取引所、東洋経済新報社
スターフューチャーズ証券	www1.mesh.ne.jp/fit/												0	検討中			(*22)		検討中
センチュリー証券	www.centurysec.co.jp												0						大和総研
第一証券	www.dai-ichi-sec.co.jp												2				24		
太平洋証券	www.taiheiyo.co.jp												2				36		ゴールデンチャート社
大和証券	www.daiwa.co.jp												22				12		時事通信社、ロイター、大和総研
DLJディレクトSFG証券	www.dljdirect-sfg.co.jp				(米国株)	検討中	検討中				検討中	検討中	26				(*22)		(*8)
千代田証券	www.chiyoda-sec.co.jp												0				(*22)		
東海丸万証券	www.tokaimaruman.co.jp												0						
東京証券	www.tokyo-sec.co.jp												8				15		
東京三菱パーソナル証券	www.tmps.co.jp												7	対応予定			13		大和総研
堂島関東証券	www.m-navi.co.jp												6				(*22)		Quick-IS Web
東洋証券	www.toyo-sec.co.jp												3				15		Quick-IS Web
東和証券	www.towasec.co.jp												7						
日興証券	www.nikko.co.jp/SEC												3				(*22)		
日興ビーンズ証券	www.nikkobean.co.jp			検討中	検討中	検討中							89				15		(*9)
日産証券	www.nissan-sec.co.jp												0		Yahooにリンク		(*22)		
日本オンライン証券	www.kabu.com			検討中	検討中	検討中	検討中	検討中			検討中		20本(予定)				(*22)		(*10)
日本グローバル証券	www.npglobal.co.jp												5				(*22)		Quick社
日本協栄証券	www.kyoei-sec.co.jp												0				1		
野村証券	www.nomura.co.jp												106				15		日経テレコン21(野村版)
日の出証券	www.hinodesc.co.jp												0						
松井証券	www.matsui.co.jp										取扱予定		0				15		Quick-IS Web
マネックス証券	www.monex.co.jp												21				15		Quick-IS Web
丸三証券	www.marusan-sec.co.jp												0						東京証券取引所
丸八証券	www.maruhachi-sec.co.jp												(*6)	23			(*22)		Quick-IS Web
水戸証券	www.mito.co.jp												0		x(来年1月予定)		36		ゴールデンチャート社
明光ナショナル証券	www.meiko-national.co.jp												24				13		
山種証券	www.yamatane.com												0						Quick-IS Web
豊証券	www.yutaka-sec.co.jp					検討中	買建のみ検討中	検討中					0				1		Quick-IS Web
ユニバーサル証券	www.univ-sec.co.jp												0		Yahooにリンク				日本証券業協会
和光証券	www.wako-sec.co.jp										解約のみ		21				2		日本証券業協会、東京証券取引所、東洋経済新報社

50音順。各社サービス内容は11月05日現在。サービス開始前の証券会社：日本オンライン証券(2000年1月21日開始予定)、エイチ・アイ・エス協立証券(2000年1月開始予定)、シュワブ東京海上証券(準備整い次第開始予定)
 (*1) 日計り買い：買い付けた株式を、その日のうちに売却すること。(*2) 一口注文の適用：同じ日に同一株式銘柄が複数注文された場合、約定金額を合算して手数料を計算する。(*3) A：24時間、B：24時間(不可時間あり) C：6時～翌1時、D：6時～翌1時(不可時間あり) E：6時～翌2時(不可時間あり) F：6時～翌3時(不可時間あり) G：6時～翌4時、H：7時～翌1時、I：7時～翌1時(不可時間あり) J：9時～19時、K：5時～翌3時、L：土曜6時～翌2時、日曜日8時～翌1時、M：6時～翌5時。(*4) WWWブラウザのバージョンによってはSSL128に対応できない。(*5) 2000年第2四半期以降に取引を開始。(*6) ボンドセレクトトラスト(米ドル・豪ドル・NZドル・ポンド・ユーロ建て)。(*7) 東洋経済新報社、モーニングスター社、ロイター社、ピングチャート社。(*8) 時事通信社、ラジオたんぱ、日経テレコン、東洋経済新報社、ファーストコール、日刊工業新聞。(*9) FISCO社、東証、東洋経済新報社、日興ソロモン・スミス・バーニー、S&Pアイフェイス、日経マネー、野村総合研究所。(*10) QUICK for kabu.com、東洋経済新報社。(*11) ただし月末時預り資産が30万円を下回った場合、月額2,000円の口座維持手数料を口座引き去り方式で負担。

取引・手数料など											利用環境				株式注文可能時間 ^{(*)3}		サポート		セキュリティ ^{(*)4}									
日計り高い ^{(*)1}	投資相談 頭で相談 最寄りの店 電話	売買手数料：成り行き(円)				売買手数料：指値(円)				一口注文 の適用 ^{(*)2}	手数料割引 の適用 ^{(*)2}	プリン タの有無	手数料割引 の有無	利用料 (円/年)	オンライン サービス (円/年)	口座管理料・保 険料(円/年)	情報サービス (円/年)	Macintosh 対応		携帯電話 (iモ ド)対応	携帯端末 未対応	ゲーム機	その他 未対応	平日	土日・ 祝日	電子 メール	電話	
				1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500										1,500					1,500				無料
		2,500	2,500	3,450	8,850	2,500	2,500	3,450	8,850				無料	無料	無料									B	A			SSL40
	(*)21	2,000	4,250	8,250	21,250	2,000	4,250	8,250	21,250				無料	無料	無料									B	B			SSL40
	(*)21	2,500	2,500	2,500	7,500	2,500	2,500	2,500	7,500				無料	無料	無料							Linux		A	B			SSL128
		2,000	2,000	3,000	9,000	2,000	2,000	3,000	9,000				無料	無料	1,854(選択制)									B	B			SSL40
		2,500	5,750	11,500	27,850	2,500	5,750	11,500	27,850				無料	2000	6,000/3か月(当初 3か月は無料)									B	B			SSL40
		1,500	1,500	1,500	3,000	2,000	2,000	2,000	3,600				無料	無料	(*17)									M	A			SSL40
		1,500	1,500	1,500	3,000	2,000	2,000	2,000	3,000				無料	無料	(*18)									B	B			SSL40
		800	800	800	800	1,000	1,000	1,000	900				無料	無料	未定									B	B			SSL128
	(*)21	1,800	4,525	9,050	22,550	1,800	4,525	9,050	22,550				無料	(*19)	サービス料を含む									D				SSL40+S ECE
	(*)21	1,800	1,800	1,800	3,000	2,500	2,500	2,500	3,750				無料	2000年3月 未定	無料	サービス料を含む								B	B			SSL40
	(*)21	2,500	3,575	7,150	18,200	2,500	3,575	7,150	18,200				無料	3,150	無料									D				SSL128
	(*)21	2,500	3,450	6,900	17,700	2,500	3,450	6,900	17,700				無料	3,150	無料									D				SSL128
		2,500	4,600	9,200	23,280	2,500	4,600	9,200	23,280				無料	無料	無料							検討中		D				SSL40 ウェブよ りのメール
		未発表	未発表	未発表	未発表	未発表	未発表	未発表	未発表				無料	未発表										未発表	未発表			SSL128
	(*)21	2,500	4,625	9,250	21,250	2,500	4,625	9,250	21,250				無料	1,575	無料									D				SSL40+S ECE
		2,500	2,500	4,800	14,400	2,500	2,500	4,800	14,400				無料	無料	無料									B	A			SSL40
		2,000	2,000	2,500	7,500	2,000	2,000	2,500	7,500				無料	無料	無料									E				SSL40
		2,000	2,000	4,000	12,000	2,000	2,000	4,000	12,000				無料	無料	無料									B				SSL40
		2,000	2,000	3,450	8,850	2,000	2,000	3,450	8,850				無料	無料	無料									B	A			SSL40
	(*)21	1,900	4,310	8,620	21,820	1,900	4,310	8,620	21,820				無料	3,150円 (一定の条件 で適用)	無料									E	C			SSL40(128 へ対応予定)
		1,900	1,900	1,900	1,900	2,500	2,500	2,500	2,500				無料	無料(12月 未定)	無料(12月未定)									B	B			SSL40
		2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500				無料	無料	無料									B	B			SSL40
		1,750	2,875	5,750	14,125	1,750	2,875	5,750	14,125				無料	無料	無料									B	A			SSL40
		2,500	4,312	8,512	20,813	2,500	4,312	8,512	20,813				無料	2000年3月 未定	無料	サービス料を含む								D	J			SSL40(128 へ対応予定)
		1,800	1,800	1,800	1,800	2,500	2,500	2,500	2,500				無料	2000年3月 未定	無料	サービス料を含む								A	A			SSL40ビット (移行準備中)
		2,000	2,000	2,500	7,500	2,000	2,000	2,500	7,500				無料	無料	無料									A	A			SSL40
	(*)21	1,500	2,875	5,750	14,250	1,500	2,875	5,750	14,250				無料	未定(2000 年3月未定)	無料	サービス料を含む								D				SSL40 11月末より 対応
	(*)21	3,000	3,000	4,000	12,000	3,000	3,000	4,000	12,000				無料	無料	無料									A	A			SSL40
		2,500	5,750	11,500	29,500	2,500	5,750	11,500	29,500				無料	3,150(規定に よる無料にも)	無料									D				SSL40
		1,000	1,000	1,800	5,400	1,000	1,000	1,800	5,400				無料	無料	無料									K	K			SSL128
	(*)21	2,500	2,500	3,000	9,000	2,500	2,500	3,000	9,000				無料	無料	無料									A	A			SSL40
	(*)21	1,500	1,500	2,000	6,000	1,700	1,700	2,500	6,500				無料	無料	2000年1月未定									A	A			SSL128
		1,500	1,500	1,500	1,500	2,000	2,000	2,000	2,000				無料	無料(口座 開設料3,150円)	無料									F	F			SSL40
		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000				12,000	無料	無料									I	H			SSL128 + CyberTrust
		2,500	5,000	9,200	22,800	2,500	5,000	9,200	22,800				あり	無料	3,105 (*12)	無料(*13)								E	L			SSL128 + CyberTrust
		1,500	4,087	8,175	20,175	1,500	4,087	8,175	20,175				無料	無料	無料									E				SSL40
	(*)21	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000				2000年3月 未定	無料	サービス料を含む									F	F			SSL40
		1,000	1,000	1,000	3,000	1,500	1,500	1,500	3,750				無料	300(売買 手数料は年 間固定)	無料	サービス料を含む								B	B			SSL40
	(*)21	2,000	2,000	2,000	3,000	2,000	2,000	2,000	3,000				無料	無料	無料									E	A			SSL40
	(*)21	2,500	2,500	3,000	9,000	2,500	2,500	3,000	9,000				無料	無料	無料									A	A			SSL128
	(*)21	1,905	1,905	1,905	3,000	1,905	1,905	1,905	3,000				無料	無料	無料									B	A			SSL40 + VeriSign
	(*)21	2,000	2,875	5,750	14,450	2,000	2,875	5,750	14,450				無料	無料	2000年3月未定									A	A			SSL40
	(*)21	2,000	2,875	5,750	14,750	3,000	2,875	5,750	14,750				無料	3,150	2000年3月未定									D				SSL128
	(*)15	2,000	2,000	3,000	9,000	2,000	2,000	3,000	9,000				無料	無料	2000年3月未定									B	A			SSL40
	(*)15	1,900	4,312	8,625	21,075	1,900	4,312	8,625	21,075				無料	無料	無料									D				SSL128
	(*)16	2,500	4,025	8,050	19,670	2,500	4,025	8,050	19,670				無料	1,575	2000年12月未定									C				SSL40 + SECE

(*12) 保振機構全預託の場合は半額。(*13) 規定回数以上のアクセスは追加料金が必要。(*14) 中国株(香港、上海、深セン市場)。(*15) アドバイスを受ける場合は手数料率が変わる。(*16) 情報のみ利用可。(*17) 口座開設後1年間無料(その後12,000円、取引実績あれば無料延長)。(*18) 99年12月未定で無料(その後半年6,300円、1年10,500円)。(*19) 3,150円(岡三株主で当該株式を岡三証券にて預けている場合は無料)。(*20) 米株取引については2000年1月末まで1取引につき20ドル(1,000株まで)。(*21) 時価情報程度。(*22) 期間については明示せず。

本記事は株式などの金融商品への投資を勧誘・推奨するものではありません。投資、運用は自己の責任において行ってください。なお、記事に対するご意見は im-kabu@impress.co.jp までお寄せ下さい。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp